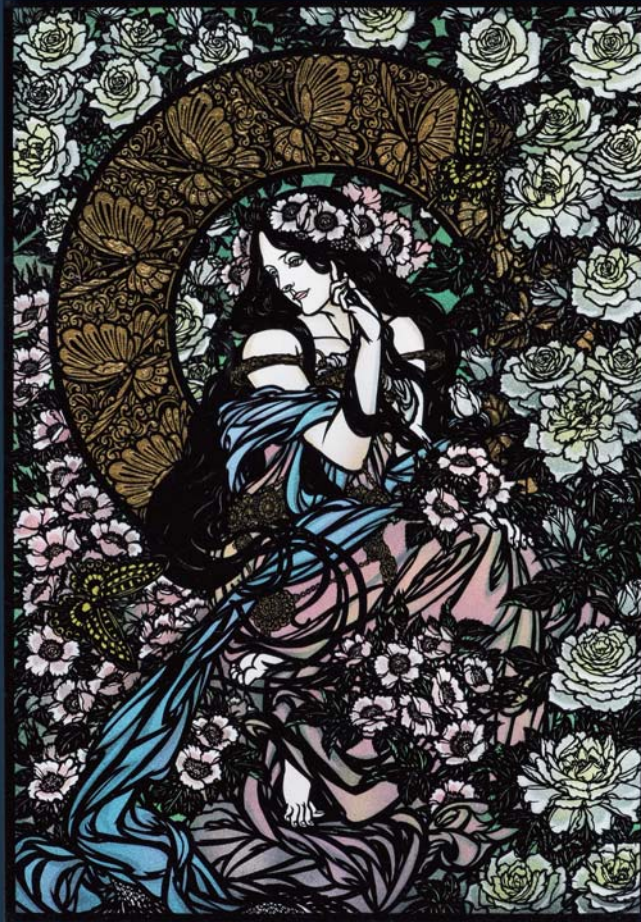


1枚の紙が織りなすファンタジー、六甲アイランドに初上陸！



息を呑む  
織細美

切り絵アート展

祝福貞「書画色の季節」(1999年)

特別展

息を呑む織細美

切り絵アート展

2019年1月12日(土)–3月24日(日)

特別展  
息を呑む繊細美

## 切り絵アート展

「切り絵」は、紙などをハサミやデザインカッター、ナイフでカットして生み出される、無限の可能性を秘めた芸術です。日本においては古来より儀式に使われ、今でも飛騨高山などでは奈良時代以来と伝えられる伝統的な様式が残っています。

本展では、レース切り絵で世界的に評価を受ける蒼山日菜<sup>あおやま ひな</sup>、神戸市出身のにいみずよし倪瑞良をはじめとした日本を代表する切り絵作家 11 人の個性的な手法に満ちた作品を、110 点紹介。

日本最高峰の切り絵芸術による世界を楽しめます。

きっと、切り絵の魅力のとりこになるでしょう。



紙をはさみやナイフで切ることによって人物や風景などを表現する「切り絵」。一般的には、平面的、モノトーンといったイメージが強いのですが、現代作家たちはこうした従来の制約から解放され、紙という素材と向き合いながら、自由な発想で個性的な作品を発表しています。

紙を切ることで生み出される独特の線と断面を生かしながら、驚くばかりの繊細な技術を駆使する切り絵作家たち。

人気作家たちの“カミワザ”と、切り絵の無限の可能性に触れていただける貴重な機会です。

■ 蒼山日菜（あおやま ひな）

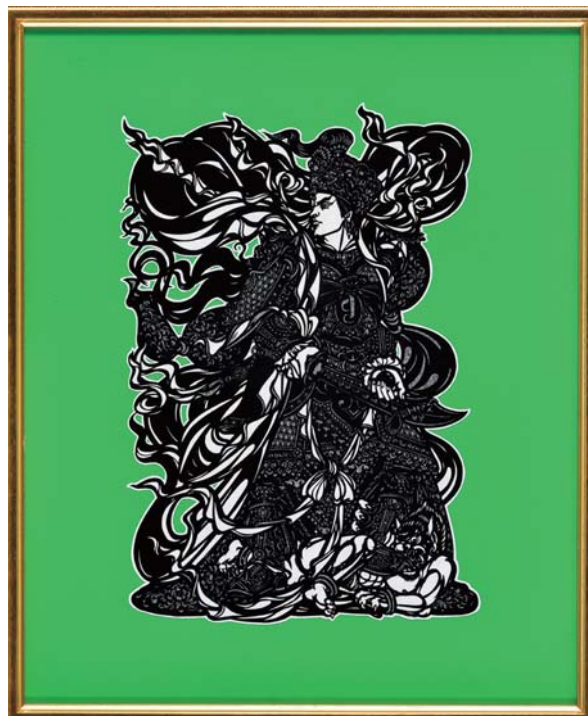


「Voltaire（ヴォルテール）」（部分）

■ 倪瑞良 (にいみずよし)



「薔薇色の季節」1999年



「四天王 持国天王 提多羅沌沌」2002年

■ 井出文蔵 (いでぶんぞう)



「一寸法師」2004年

■ 関口コオ (せきぐちこお)



「ひまわり」1982年

■ 酒井敦美 (さかい あつみ)



「春の羽」2016年

■ 辰巳雅章 (たつみ まさあき)



「赤ずきん」2009年

■ 筑紫ゆうな (ちくしゅうな)



「無題」2012年

■ 林敬三 (はやし けいぞう)



「七人の侍」2009年

■ 福井利佐 (ふくいりさ)



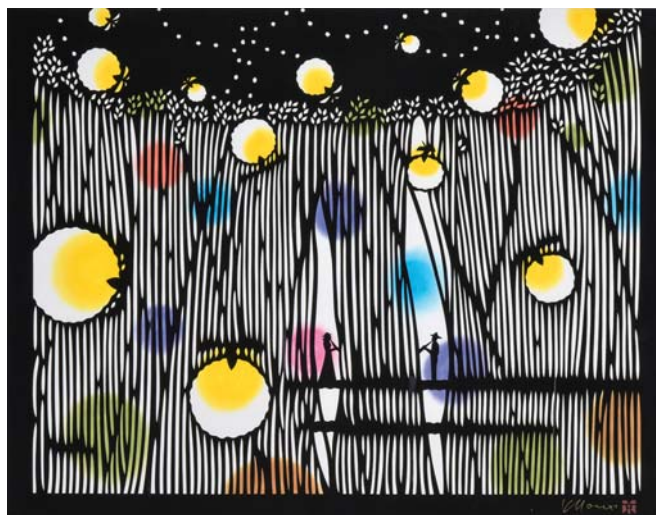
「carpIV 2016」2016年

■ 百鬼丸 (ひゃっきまる)



「武田信玄」2014年

■ 柳沢京子 (やなぎさわ きょうこ)



「抒情する蛍」1992年

関連イベント (いずれも入館券が必要)

### (1) 蒼山日菜によるギャラリートーク&サイン会&実演

◆2月2日(土曜)

14:00～15:00 ギャラリートーク

15:00～16:00 サイン会

◆2月3日(日曜)

10:30～11:45 ギャラリートーク

13:00～14:00 実演

14:00～15:00 サイン会

【ギャラリートーク】特別展示室

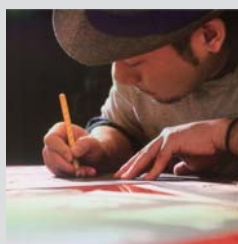
【実演】4F第1セミナー室

【サイン会】特別展示室前ロビー

※実演は事前申し込みが必要。定員90人程度、先着順。 ※サイン会は関連書籍購入の方に限ります。



### (2) ワークショップ「親子で、神戸ポートタワーを切り絵で作ろう」



◆3月2日(土曜) 14:00～16:30

4F第1セミナー室

講師 切り絵作家 民井達也

定員 親子20組 先着順  
(子どもは8歳以上)

参加費 1,000円  
(材料費、保険料込み)

#### 〈申し込み方法〉

(1)(2) いずれも、①名前 ②年齢 ③住所 ④連絡先を明記のうえ、メール  
(workshop@fashionmuseum.or.jp) か、下記問い合わせ先へ電話でお申し込みください。



2019年

1月12日(土)～3月24日(日)

開館時間：10:00～18:00 (入館は17:30まで)

休館日：月曜日、ただし1月14日、2月11日(いずれも月曜)は開館し、翌1月15日、2月12日(いずれも火曜)が休館

入館料：一般1000(800)円、大学生・65歳以上500(400)円、高校生以下無料

※カッコ内は30名以上の団体料金です。

※「神戸ゆかりの美術館」、「小磯記念美術館」へは当日入館券の半券提示により割引料金で入館できます。

※上記料金で特別展と常設展(コレクション展)の両方をご覧頂けます。

主催：神戸ファッション美術館、神戸新聞社、毎日新聞社

後援：サンテレビジョン、ラジオ関西

展示協力：大阪樟蔭女子大学

#### お問い合わせ(広報担当)

TEL：078-858-0050

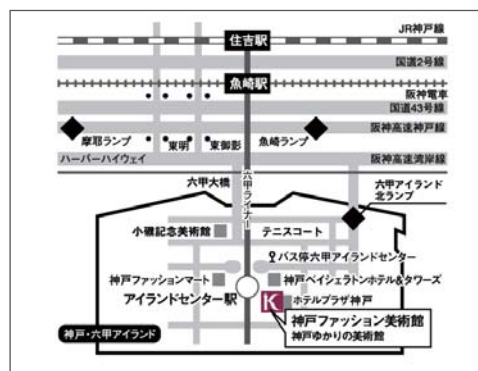
FAX：078-858-0058

Eメール：press@fashionmuseum.or.jp

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1

http://www.fashionmuseum.or.jp

神戸ファッション美術館 検索



[電車ご利用の場合]

JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」のりかえ六甲ライナー「アイランドセンター駅」下車南東すぐ

[お車ご利用の場合]

阪神高速神戸線「摩耶」・「魚崎」ランプから約10分  
阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプから約2分  
三宮からハーバーハイウェイ経由約15分

※駐車場は、美術館隣接のタイムズ神戸ファッションプラザ駐車場をご利用ください。

駐車場利用料金：60分300円

※1日最大500円(平成29年12月現在)

同時開催 ※ 特別展をご覧の方は無料です。

■ 常設展 (コレクション展)

特集テーマ「平成のファッション」展

平成 (1989 年 -2019 年) の 30 年間のファッションを牽引した三宅一生、川久保玲、山本耀司、金子功、渡辺淳弥、永澤陽一、菱沼良樹、津村耕佑、山下隆夫、高橋盾、岩谷俊和、阿部千登勢、神田恵介、森永邦彦、廣川玉枝、熊切秀典、ジョン・ガリアーノ、マルタン・マルジェラ、アレキサンダー・マックイーン、ステラ・マッカートニーなど約 40 名の国内外デザイナー作品を展示。昭和バブルの崩壊、阪神・淡路大震災などを経て、21 世紀を迎えたファッションを一堂に集めた画期的な展覧会です。



① 金子功 / KANEKO ISAO  
「ドレス」1990 年代 個人蔵

② ジョン・ガリアーノ / GIVENCHY  
「イヴニング・ドレス」1996 年 個人蔵

③ マルタン・マルジェラ / Maison Martin Margiela  
「ジャケット」1997 年 小山壽美代氏寄贈

お問い合わせ (広報担当)

TEL : 078-858-0050

FAX : 078-858-0058

Eメール : [press@fashionmuseum.or.jp](mailto:press@fashionmuseum.or.jp)